

(様式7)

## 事業計画書目次

[ 磯子 区 ] 3款 2項 1目 自主企画事業費 (単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	区総合調整費	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0	
2	区民満足度向上事業	7,241	7,241	7,171	7,171	70	70	
3	広報・案内事業	7,552	7,469	5,176	5,093	2,376	2,376	
4	区の魅力創出・発信事業	1,653	1,653	2,403	2,403	△ 750	△ 750	
5	環境行動推進事業	6,782	6,782	4,292	4,292	2,490	2,490	○
6	区づくり経営事業	1,945	1,945	4,003	4,003	△ 2,058	△ 2,058	
7	商店街にぎわいづくり事業	4,180	4,180	4,450	4,450	△ 270	△ 270	
8	まちの美化推進事業	2,465	2,465	2,215	2,215	250	250	
9	健民祭応援事業	2,714	2,714	2,714	2,714	0	0	
10	自治会町内会振興事業	5,174	5,174	5,298	5,298	△ 124	△ 124	
11	磯子まつり事業	4,300	4,300	4,300	4,300	0	0	
12	「区民のちから」発揮・活用事業	1,307	1,307	1,307	1,307	0	0	
13	国際交流推進事業	1,419	1,419	1,375	1,375	44	44	
14	地域の居場所づくり支援事業	2,600	2,600	2,100	2,100	500	500	
15	自治会町内会ICT利活用支援事業	1,800	1,800	4,800	4,800	△ 3,000	△ 3,000	
16	自治会町内会活動デジタル化支援事業	3,000	3,000	0	0	3,000	3,000	○
17	地域と一緒に作る防災・減災事業	8,288	8,288	7,987	7,987	301	301	○
18	地域・学校防犯力強化事業	1,311	1,311	1,437	1,360	△ 126	△ 49	

19	交通安全啓発事業	3,595	3,595	3,333	3,333	262	262	
20	災害時要援護者支援事業	1,395	1,395	1,950	1,950	△ 555	△ 555	
21	地域文化活性化事業	2,128	2,128	1,844	1,844	284	284	
22	区民スポーツ振興事業	1,100	1,100	1,610	1,610	△ 510	△ 510	
23	青少年育成活動助成事業	962	962	962	962	0	0	
24	子育て応援事業	6,886	6,886	4,486	4,486	2,400	2,400	○
25	保育園地域子育て事業	827	814	795	774	32	40	
26	親子の笑顔サポート事業	2,298	2,298	3,669	3,669	△ 1,371	△ 1,371	
27	磯子区地域福祉保健計画推進事業	6,749	6,749	6,899	6,899	△ 150	△ 150	
28	区民の健康づくり応援事業	1,892	1,892	2,100	2,100	△ 208	△ 208	
29	高齢者みんなで支えるまちづくり事業	1,396	1,396	1,496	1,496	△ 100	△ 100	
30	障害者地域生活サポート事業	934	934	1,152	1,152	△ 218	△ 218	
31	食と暮らしの安全確保・啓発事業	995	995	641	641	354	354	
-	バス路線基礎データ調査事業	0	0	1,500	1,500	△ 1,500	△ 1,500	
-	地域防災土のう置場設置事業	0	0	1,590	1,590	△ 1,590	△ 1,590	
	計	95,888	95,792	96,055	95,874	△ 167	△ 82	

事業区課	磯子区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区総合調整費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,000	0	0	0		1,000
令和3年度	1,000	0	0	0		1,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	500	500	500	500	500	500
	市債+一般財源	500	500	500	500	500	500
決算	事業費	1,242	0	15,251			
	市債+一般財源	1,242	0	15,251			

事業概要	区役所業務に係る新たな区民ニーズや予算編成時には把握できない緊急課題等に対応するために、必要な経費を執行します。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	なし							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」							
事業目的・効果 (必要性)	新たな区民ニーズや緊急課題等に対し、解決策を検討し、適切に対応するために事業を実施します。予算をあらかじめ確保しておくことで、迅速に対応することができます。							
根拠・データ等	<b>【根拠】</b> 過去の実績（緊急課題等に対応するための経費のため） <b>【実績（決算額）】</b> 平成30年 1,242千円（セキュリティ向上を目的とし、急ぎょ電子錠を設置する必要があったため） 令和元年 実施なし（緊急で対応すべき案件が無かったため） 令和2年 15,251千円（新型コロナウイルス感染症対応のため）							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
なし	単位	目標	—	—	—	—	—	—
	—	実績	—	—	—	—	—	—
なし	単位	目標	—	—	—	—	—	—
	—	実績	—	—	—	—	—	—
なし	単位	目標	—	—	—	—	—	—
	—	実績	—	—	—	—	—	—
事業スケジュール	通年で実施します。							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 区総合調整費	1,000	1,000	0	—
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		1,000	1,000	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整 係
	大野 豊	中川 敦之	小原 京子

事業区課	磯子区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区民満足度向上事業					

(単位: 千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	7,241	0	0	0		7,241
令和3年度	7,171	0	0	0		7,171
増△減	70	0	0	0	0	70

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	2,936	4,416	5,446	5,000	5,000	5,000	
市債+一般財源	2,936	4,416	5,446	5,000	5,000	5,000	
決算	2,747	5,050	5,596				
市債+一般財源	2,747	5,050	5,596				

事業概要	区民満足度のさらなる向上のため、職員一人ひとりの窓口対応力の向上や人権意識の向上を図る研修等を実施するとともに、来庁者にとって利用しやすい庁舎環境の整備を行います。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	地方自治法及び同法施行令、横浜市人権施策基本指針・人権啓発推進計画、横浜市男女共同参画推進条例、横浜市職員人権啓発研修推進要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果(必要性)	<p>区民の満足度を向上させていくためには、窓口サービスの水準や職員の意欲を更に高めていく必要があります。そのため、窓口や電話での対応力向上を図るとともに、一人ひとりが正しく人権問題を理解し、意識を高めていく取組を実施します。また、2月から3月にかけての税務申告期間においては、税申告をはじめ、様々な目的・要件、相談内容を持った来庁者が集中し3階フロアが混雑するため、税金に不慣れな区民への正しい税情報の提供と適切な窓口案内を行い、円滑な窓口対応を図ります。同時に、来庁者にとって快適でわかりやすい庁舎環境を維持するためのハード面の取組や、職員が働きやすい職場環境づくりも必要です。来庁する区民や日々区民の対応を行う職員から庁舎に関する意見を吸い上げ、庁舎環境の整備を行います。さらに、地域と一体となつてつくる区政運営の取組の一環として、区民に磯子区への愛着をより深めていただけるよう、平成29年度、区制90周年事業としてタイムカプセル郵便に「10年後の自分へのメッセージ」を書いた区内市立中学校3年生の生徒に対し、5年が経過し、中学校卒業の区切りとなる令和4年度、門出を祝い、卒業後の未来を応援するメッセージを送ります。</p>							
根拠・データ等	<p>窓口サービス満足度（「満足」又は「やや満足」の割合）          &lt;実績値推移&gt;平成28年度97.2%、29年度97.0%、30年度94.7%、令和元年度100%、2年度・3年度中止、4年度97%以上（見込）</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
職員人材育成研修	単位	目標	3	3	2	2	2	2
	回	実績	3	2				
人権啓発講演会	単位	目標	300	300	300	300	300	300
	人	実績	312	中止				
税情報提供・窓口案内	単位	目標	19	19	24	26	25	23
	日	実績	12	18				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成6年度：事業開始</li> <li>平成23年度：窓口外部評価事業開始（区独自）</li> <li>令和元年度：税情報提供・窓口案内事業開始（令和3年度から予算化）</li> <li>令和4年度：未来応援メッセージ配布事業実施</li> </ul>							

(単位: 千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	窓口外部評価事業	150	150	0	—
	②	職員人材育成研修事業	250	250	0	—
	③	人権啓発事業	421	421	0	—
	④	税情報提供・窓口案内事業	240	250	▲10	経費の見直しによる減
	⑤	区庁舎環境整備事業	6,080	6,100	▲20	改善内容の変更による減
	⑥	未来応援メッセージ事業	100	0	100	新規事業実施による増
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
細事業合計		7,241	7,171	70		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	大野 豊	係長	関 哲夫	庶務	係	宮田 咲
--------------------	----	------	----	------	----	---	------

事業区課	磯子区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	広聴広報相談費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	広報・案内事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	7,552	0	0	83		7,469
令和3年度	5,176	0	0	83		5,093
増△減	2,376	0	0	0	0	2,376

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		5,435	6,044	5,774	6,552	7,552	6,552	7,552	6,552
市債+一般財源		5,118	5,839	5,457	6,469	7,469	6,469	7,469	6,469
事業費		5,171	6,054	6,598					
市債+一般財源		4,966	5,800	6,525					

事業概要	区役所を訪れる区民にとって親しみやすく、利用しやすい区役所を実現するために庁舎案内を行います。また、効果的でわかりやすい情報発信をするために、磯子区区民生活・震災時防災マップ及び磯子区統計白書等の配布などの広報をします。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	なし							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●窓口案内事業 来庁者へ明るく適確に庁舎案内を行い、区役所への親しみを持ってもらうため実施します。</li> <li>●区民生活・バスマップ発行事業 区民の生活利便性向上のため、区民利用施設や磯子区を所管する官公署などをわかりやすく紹介する「磯子区区民生活・震災時防災マップ」及び区内のバス停・ルートを紹介する「磯子区バスマップ」を改訂します。</li> <li>●転入者配布用セット事業 区民の生活利便性向上のため、磯子区に転入された方に対して「磯子区区民生活・震災時防災マップ」等をまとめて封入し、戸籍課の窓口で配布します。</li> <li>●統計白書発行事業 区民生活に関わりの深い各種統計情報を掲載した「磯子区統計白書」を発行します。</li> <li>●広報素材収集事業 区内の魅力的な風景等を撮影した広報事業に使用する広報素材を収集し、発信します。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●窓口案内事業 内容：庁舎1階で来庁者への庁舎案内及び広報配布物の整理・配布（委託） 時間：平日午前8時45分から午後5時まで 場所：磯子区役所1階 正面入口内 区民ホール</li> <li>●区民生活・バスマップ発行事業 (1) 磯子区区民生活・震災時防災マップ A1版カラー 表面（区民生活マップ）：区のあらまし、公共機関・市民利用施設一覧等、裏面（震災時防災マップ）：磯子区全域図、地域防災拠点 (2) 磯子区バスマップ A3版カラー 表面：区内主要駅バス乗り場案内、裏面：バス停・バスルート</li> <li>●転入者配布用セット事業 作成部数：3,200部（令和4年4月、10月作成予定）、封入作業は年2回、障害者就労施設に委託</li> <li>●統計白書発行事業 A5版、50頁程度、1,500部、令和5年1月予定</li> <li>●広報素材収集事業 区内のみどころ200素材</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
窓口案内件数	単位	目標	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000
	件	実績	37,816	32,289				
区民生活・震災時防災マップ印刷部数	単位	目標	0	20,000	0	15,000	0	15,000
	部	実績	0	20,000				
統計白書発行部数	単位	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	部	実績	1,500	1,500				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口案内事業（通年で実施）</li> <li>・磯子区区民生活・震災時防災マップ（令和5年3月納品）</li> <li>・磯子区バスマップ（令和5年3月納品）</li> <li>・転入者配布用セット事業（年2回実施、令和4年4月・10月）</li> <li>・磯子区統計白書発行（令和5年1月）</li> <li>・広報素材収集事業（通年で実施）</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 窓口案内事業	4,670	4,279	391	人件費上昇等に伴う単価の見直しによる増
	② 区民生活・バスマップ発行事業	1,272	272	1,000	区民生活マップ隔年発行による増
	③ 転入者配布用セット事業	168	168	0	—
	④ 統計白書発行事業	457	457	0	—
	⑤ 広報素材収集事業	985	0	985	新規実施による増
	細事業合計	7,552	5,176	2,376	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談
	金川 守	大熊 光子	奈良 愛実

事業区課	磯子区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区の魅力創出・発信事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,653	0	0	0		1,653
令和3年度	2,403	0	0	0		2,403
増△減	△ 750	0	0	0	0	△ 750

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費		1,958	1,794
市債+一般財源		1,958	1,794
決算 事業費		1,785	2,340
市債+一般財源		1,785	2,340

令和5年度	令和6年度	令和7年度
3,000	2,000	2,000
3,000	2,000	2,000

事業概要	磯子の魅力を創出し、区内外へ発信することで、区民の磯子区への関心や愛着を醸成し回遊性を高めるとともに、区外からの誘客を促します。								
事業開始年度	令和元年度								
根拠法令・方針決裁等	堀割川魅力づくり活動補助金交付要綱								
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」								
事業目的・効果 (必要性)	磯子区には、地域で愛されている食べ物や、磯子ならではの風景、歴史など、様々な魅力資源が数多く存在します。また、地域で親しまれている魅力資源（まちの歴史的資産や水・緑等の自然）に関する活動を行っている方や団体等が多く見られます。こういった貴重な区の魅力資源の継続的な掘り起しや、その支援・情報発信を行っていくことで、区民の区への愛着の醸成を図るとともに、区民の回遊性や区外からの誘客を促進し、地域の活力向上や地域経済の活性化を図る必要があります。								
根拠・データ等	区民意識調査、過年度実施アンケート結果、区民要望等								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
パンフレット等配布数	単位	目標	3,000	200	7,000	10,000	10,000	7,000	7,000
	部	実績	2,930	4,223					
工場見学参加者数	単位	目標	100	100	50	50	50	50	50
	人	実績	68	0					
事業スケジュール	令和元年度 「磯子の逸品」追加認定 令和2年度 磯子区プロモーションパンフレットの作成 令和3年度 磯子区プロモーションウェブサイトの作成 令和4年度 「磯子の逸品」冊子改訂版の作成 令和5年度 「磯子の逸品」追加認定								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	磯子区の魅力発信事業	1,270	2,020	▲ 750	事業終了等による減
②	企業等連携推進事業	163	163	0	—	
③	堀割川の魅力づくり活動支援事業	220	220	0	—	
細事業合計		1,653	2,403	▲ 750		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	金川 守	係長	谷田 広紀	企画調整 係	深川 明日香
--------------------	----	------	----	-------	--------	--------

事業区課	磯子区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	環境行動推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,782	0	0	0		6,782
令和3年度	4,292	0	0	0		4,292
増△減	2,490	0	0	0	0	2,490

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		3,280	3,280	4,145	5,232	5,232	5,232
市債+一般財源		3,280	3,280	4,145	5,232	5,232	5,232
決算		2,777	3,543	3,599			
市債+一般財源		2,777	3,543	3,599			

事業概要	SDGs の理念を踏まえ、脱炭素社会の実現や「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標達成に向けて、区民・事業者・団体等と行政が協働することにより、温暖化防止行動・省エネを推進します。							
事業開始年度	平成16年							
根拠法令・方針決裁等	地球温暖化対策の推進に係る法律、横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例、横浜市地球温暖化対策実行計画、横浜みどりアップ計画、磯子区環境行動推進本部設置要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素化推進事業 各家庭における太陽光パネルの導入や省エネなどの脱炭素につながる行動を促進するため、区民の皆さまに対して太陽光発電の活用による脱炭素化に関する普及啓発を行います。</li> <li>いそごエコアクション事業 (1) いそごこどもエコフェスタの開催 環境行動への意識啓発や関心を促す機会とするために、いそごこどもエコフェスタを開催します。 (2) 夏休み いそごエコスクールの開催 工作や体験を通じて楽しみながら地球環境について学ぶことができる体験型工作イベントを実施します。 (3) グリーンカーテンの普及啓発 区内の保育園や学校、公共施設において壁面緑化の実施を支援します。また、実施の様子の、各施設ホームページへの掲載を促し、グリーンカーテンの普及活動を推進します。 (4) 打ち水の実施 区内のイベントや夏祭りに応援隊を派遣し、打ち水の実施や用具の貸し出しを行うことで普及を図ります。</li> <li>磯子のまち花いっぱい事業 (1) 花の種配布等事業 区民向けに花の種や球根を配布し、自宅の玄関先や集合住宅のエントランスに蒔くなど、まちなかの景観向上を推進します。 (2) 花と緑の維持管理 磯子区総合庁舎前に設置している花時計の維持管理を行います。また、区内主要駅前等の緑化を、委託及び地域との協働により実施します。</li> </ul>							
根拠・データ等	環境に関する市民意識調査							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
いそごこどもエコフェスタ来場者数	単位	目標	2,200	2,300	100	100	100	100
	人	実績	700	300				
グリーンカーテン苗配付施設数	単位	目標	60	60	60	60	60	60
	施設	実績	34	48				
花の種配布人数	単位	目標	150	150	150	150	150	150
	人	実績	167	186				
事業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>脱炭素化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度：新規実施</li> </ul> </li> <li>いそごエコアクション事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年度：事業開始（グリーンカーテン、いそごこどもエコフェスタ）</li> <li>平成23年度：打ち水開始</li> <li>令和元年度：夏休み いそごエコスクール開始</li> <li>令和4年度：脱炭素化の啓発実施予定</li> </ul> </li> <li>磯子のまち花いっぱい事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度：花時計を区役所前に設置（令和元年度から区づくり推進費で維持管理）</li> <li>令和元年度：花の種配布開始</li> </ul> </li> </ol>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	脱炭素化推進事業	2,250	0	2,250	新規実施による増
	②	いそごエコアクション事業	1,150	1,150	0	—
	③	磯子のまち花いっぱい事業	3,382	3,142	240	内容変更による増
細事業合計		6,782	4,292	2,490		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整
	金川 守	谷田 広紀	前田 終

事業区課	磯子区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区づくり経営事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,945	0	0	0		1,945
令和3年度	4,003	0	0	0		4,003
増△減	△ 2,058	0	0	0	0	△ 2,058

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	2,030	3,710	1,862
市債+一般財源	2,030	3,710	1,862
決算 事業費	1,457	3,365	1,816
市債+一般財源	1,457	3,365	1,816

令和5年度	令和6年度	令和7年度
4,200	1,900	4,200
4,200	1,900	4,200

事業概要	区民ニーズを踏まえ、区の行政運営を効果的・効率的に推進するため、主要事業の企画・進行管理、区内事業の総合調整及び区民ニーズの調査等を実施します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例、横浜市市民協働条例、区における総合行政の推進に関する規則							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果(必要性)	<p>1 主要事業の企画・進行管理、総合調整事業 区役所が目標達成に向けて組織一丸となって取り組むため、区運営方針を策定し、広く区民へ周知します。また、区内に設置している案内サインについて、令和4年度は現状把握のために案内サインの点検・調査等を行います。</p> <p>2 区民意識調査事業 磯子区の地域特性や生活環境、行政サービス、地域活動、防災、健康・福祉などについて、区民の皆さまの意識やご意見、ご要望を把握することにより、今後も住みよいまちをつくるための基礎資料とします。</p>							
根拠・データ等	区民要望 等							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区民意識調査対象者数	単位	目標	3,500		3,500		3,500	3,500
	人	実績	1,601					
事業スケジュール	<p>1 主要事業の企画・進行管理、総合調整事業（毎年実施）</p> <p>2 区民意識調査事業（隔年実施 次回は令和5年度を予定）</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 主要事業の企画・進行管理、総合調整事業	1,945	1,573	372	手法の変更等による増
	② 区民意識調査事業	0	2,430	▲ 2,430	隔年実施による減
細事業合計		1,945	4,003	▲ 2,058	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	金川 守	谷田 広紀	吉野 祐紀



事業区課	磯子区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	商店街にぎわいづくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,180	0	0	0		4,180
令和3年度	4,450	0	0	0		4,450
増△減	△ 270	0	0	0	0	△ 270

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	2,990	4,190	4,170
市債+一般財源	2,990	4,190	4,170
決算 事業費	2,904	4,126	3,041
市債+一般財源	2,904	4,126	3,041

令和5年度	令和6年度	令和7年度
4,150	4,100	4,050
4,150	4,100	4,050

事業概要	磯子区の商店街への支援や、その魅力の発信により、商店街を含めた地域経済・地域コミュニティの活性化を図ります。							
事業開始年度	平成24年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市中小企業振興基本条例、横浜市商店街の活性化に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果(必要性)	商店街は、地域経済の活力の維持や地域コミュニティの核としての役割など、地域において重要性を持つ一方、来街者の減少やお客様の高齢化など、課題も多く抱えています。商店街が抱えている課題を共有し、解消するための支援を積極的に行うことで、磯子区の商店街の「にぎわい」を更に高めています。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>磯子区商店街連合会加盟商店街数及び店舗数 令和元年度：15商店街357店舗、令和2年度：15商店街357店舗、令和3年度（5月1日時点）：15商店街344店舗</li> <li>商店街朝市延べ来場者数【実績】 令和元年度：62,570人、令和2年度：すべて中止（新型コロナウイルス感染症拡大のため）</li> <li>「いそご商店街宝くじ」（商店街魅力発信イベント）の宝くじ配布数【実績】 令和元年度：69,000枚、令和2年度：29,000枚 ※令和元年度は500円につき1枚配布</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
商店街朝市延べ来場者数	単位	目標	63,000	63,000	63,000	63,000	63,000	63,000
	人	実績	62,570	中止				
宝くじ配布数	単位	目標	70,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	枚	実績	69,000	29,000				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度：商店街にぎわいづくり事業開始、商店街朝市開始</li> <li>平成27年度：いそご商店街MAP発行開始</li> <li>令和元年度：商店街魅力発信イベント開始（「いそご商店街宝くじ」）</li> <li>令和4年度：上記3事業を継続して実施</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	商店街朝市	830	1,050	▲ 220	契約実績による減
②	いそご商店街MAP更新・印刷	1,200	1,200	0	—	
③	商店街魅力発信イベント	2,150	2,200	▲ 50	契約実績による減	
細事業合計		4,180	4,450	▲ 270		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	金澤 敬	野口 遥

事業区課	磯子区	地域振興 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	まちの美化推進事業							

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,465	0	0	0		2,465
令和3年度	2,215	0	0	0		2,215
増△減	250	0	0	0	0	250

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予 事業費	2,053	2,353	2,423
算 市債+一般財源	2,053	2,353	2,423
決 事業費	1,973	2,352	1,972
算 市債+一般財源	1,973	2,352	1,972

令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,215	2,215	2,215
2,215	2,215	2,215

事業概要	区民・事業者・団体・行政の協働のもと、「一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ3R夢プラン）」の目標を達成するため、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進します。								
事業開始年度	平成16年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市一般廃棄物処理基本計画、磯子区環境行動推進功労者・功労団体表彰要領、横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例、同施行規則等、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、磯子区3R応援隊活動助成金交付要綱、磯子のまち美化パートナー制度要綱								
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」								
事業目的・効果（必要性）	<p>本事業は以下の取組を行うことで「一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ3R夢プラン）」の目標を達成し、ごみと資源の総量を削減するとともに、環境負荷の低減を図ることを目的としています。</p> <p>1 ヨコハマ3R夢アップ推進事業</p> <p>(1) 啓発活動 新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない場合には、ホームページや広報誌を活用した啓発を行う他、啓発用DVDの配付や、啓発用動画を流すことで情報の発信を行います。 また、収束した場合には、地域のイベントや区民利用施設と連携したイベント等、様々な機会を活用して、環境事業推進委員、磯子区3R応援隊等と協働した3R夢プランの啓発を行います。</p> <p>(2) 環境教室等の実施 未就学児や小学生までの環境に対する意識を醸成させるため、会場や人数の調整等感染症対策を行い、環境教室やリサイクル工作教室を実施します。</p> <p>(3) 功労者表彰 永年にわたって清掃活動等に貢献された地域の功労者（個人・団体）を表彰します。</p> <p>(4) 不法投棄防止対策 不法投棄の防止対策の実施及びごみ等の不法投棄を早期に処理します。</p> <p>2 駅周辺清掃事業</p> <p>(1) 磯子駅周辺で、交通事業者や周辺事業者の協力による清掃活動を実施します。</p> <p>(2) 美化意識向上のきっかけ作りとして、ごみ拾いとスポーツを掛け合わせた「スポGOMI」を感染症対策を行い実施します。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市 ごみと資源の総量 &lt;実績推移&gt; H29年度1,207,537トン、H30年度1,194,725トン、R元年度1,220,597トン、R2年度1,200,410トン</li> <li>磯子区 ごみと資源の総量 &lt;実績推移&gt; H29年度38,093トン、H30年度37,121トン、R元年度37,480トン、R2年度38,006トン</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
ごみと資源の総量（横浜市）	単位	目標	1,189,400	1,183,400	1,173,407	-	-	-	1,147,898
	トン	実績	1,220,597	1,200,410					
ごみと資源の総量（磯子区）	単位	目標	37,208	37,265	-	-	-	-	-
	トン	実績	37,480	38,006					
事業スケジュール	平成16年度：事業開始 平成30年度：駅周辺清掃事業を開始 令和4年度：事業継続実施								

(単位：千円)

細事業（事業内訳）	細事業名称		4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	①	ヨコハマ3R夢アップ推進事業	2,109	1,809	300	広報用備品の購入による増
②	駅周辺清掃事業	356	406	▲50	清掃用物品の在庫活用による減	
細事業合計		2,465	2,215	250		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岡 守	勝山 圭太	境 聖矢

事業区課	磯子区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	健民祭応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,714	0	0	0		2,714
令和3年度	2,714	0	0	0		2,714
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,700	2,700	2,700	2,714	2,714	2,714
	市債+一般財源	2,700	2,700	2,700	2,714	2,714	2,714
決算	事業費	2,532	2,185	264			
	市債+一般財源	2,532	2,185	264			

事業概要	地区連合町内会（9地区）ごとに実施する「健民祭」に補助金を交付し、地域の“きずな”づくりを支援します。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	磯子区健民祭事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果 (必要性)	地区連合町内会が実施する「健民祭」を支援することで、各地区の賑わいや活性化が図られ、地域の連帯意識を高めるとともに、地域コミュニティの醸成に寄与することを目的としています。 地域の連帯意識を高めることで、複雑化・多様化する地域課題に対して様々な担い手が協働し解決していくことが期待されます。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お住まいの地域への愛着や誇り（感じている・やや感じている）【磯子区民意調査／推移】 平成29年度：72.2% 令和元年度：77.0%</li> <li>・健民祭参加者数（各地区合計）【実績】 平成29年度：9,740人 平成30年度：9,472人 令和元年度：6,509人 令和2年度：480人 ※令和元年度は台風の影響により、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止の地区があります。</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
健民祭参加者数	単位	目標	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
	人	実績	6,509	480				
事業スケジュール	平成22年度：事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	健民祭事業補助金交付事業	2,714	2,714	0	—
	細事業合計	2,714	2,714	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	中鉢 祐樹	遠藤 貴史

# 令和 4 年度 事業計画書

事業区課	磯子区	地域振興課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	自治会町内会振興事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,174	0	0	0		5,174
令和3年度	5,298	0	0	0		5,298
増△減	△124	0	0	0	0	△124

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	4,260	4,305	5,331	5,174	5,174
市債+一般財源	4,260	4,305	5,331	5,174	5,174	5,174
決算	4,367	3,472	6,536			
市債+一般財源	4,367	3,472	6,536			

事業概要	自治会町内会活動を支援することで、自治会町内会活動の活性化・地域の振興に寄与します。また、地域の絆づくりに尽力している自治会町内会長等に感謝の意を表すとともに、行政と地域との信頼関係を深めます。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例、磯子区自治会町内会長永年在職者表彰要綱、磯子区自治会町内会役員等表彰要綱、磯子区自治会町内会広報掲示板設置等補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果(必要性)	自治会町内会は、地域課題の解決を果たす中心的な団体ですが、加入率の低下や役員のなり手不足などの問題を抱えています。自治会町内会の活動を発信していくこと、自治会町内会の活動が充実し、円滑に行われることが解決策の一つと考え、それらに対して支援を行います。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会町内会等の数(令和3年4月1日時点：単位自治会町内会167、地区連合町内会9)</li> <li>自治会町内会広報掲示板設置等補助金の申請実績(H29：9件、H30：18件、R2：23件)</li> <li>令和2年度横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査結果より「自治会町内会への加入に向けて、行政の支援として有効と考えられる項目」として「転入者への自治会町内会活動の周知」と回答した団体の割合：60.9%</li> <li>「自治会町内会の運営上の課題について」、「役員のなり手が少ない」と回答した団体の割合：77.9%</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自治会町内会加入率	単位	目標	-	-	72.5	72.5	72.5	72.5
	%	実績	73.7	72.5				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成6年度：事業開始</li> <li>平成23年度：自治会町内会役員等表彰開始</li> <li>平成29年度：自治会町内会広報掲示板設置等補助事業開始</li> <li>令和4年度：事業継続実施</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	自治会町内会支援事業	2,573	2,686	▲113
②	自治会町内会長感謝会	1,152	1,163	▲11	事務用品の在庫活用による減
③	自治会町内会役員等表彰	49	49	0	—
④	自治会町内会広報掲示板設置等補助事業	1,400	1,400	0	—
細事業合計		5,174	5,298	▲124	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	金澤 敬	高橋 愛子

事業区課	磯子区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	磯子まつり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,300	0	0	0		4,300
令和3年度	4,300	0	0	0		4,300
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	4,200	4,300	4,300
市債+一般財源	4,200	4,300	4,300
決算 事業費	4,200	4,300	0
市債+一般財源	4,200	4,300	0

令和5年度	令和6年度	令和7年度
4,300	4,300	4,300
4,300	4,300	4,300

事業概要	磯子まつりは、区民の故郷意識や一体感を醸成する場として、「新旧住民の連帯意識を涵養（かんよう）し、企業と住民の融和を図る」ことを目的に開催されました。平成21年度からは、区民・区内活動団体・区内企業が主体となって実施する区民まつりとなっています。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	磯子まつり補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果 (必要性)	本事業は、磯子まつりの開催により磯子区の賑わいや活性化が図られ、区民の連帯意識を高めるとともに、地域コミュニティの醸成に寄与することを目的としています。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>磯子まつり来場者数 &lt;実績推移&gt; H22年度10,000人、H23年度15,000人、H24年度18,000人、H25年度45,000人、H26年度50,000人、H27年度53,000人、H28年度54,000人、H29年度59,000人、R元年度35,000人、R2年度（開催中止）、R3年度（開催中止） ※令和2年度及び令和3年度の磯子まつりは、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、中止となりました。</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
来場者数	単位	目標	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
	人	実績	35,000	開催中止				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成29年度：区制90周年記念として実施 平成30年度：Dance Dance Dance @YOKOHAMA2018と連携イベントを実施 令和元年度：横浜音祭り2019と連携イベントを実施 令和2年度：新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、開催中止 令和3年度：新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、開催中止 令和4年度：連携事業等の詳細は、磯子まつり振興委員会にて決定							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	磯子まつり事業	4,300	4,300	0	—
	細事業合計	4,300	4,300	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	大蔭 直子	係長	金澤 敬	地域活動係	坂本 太郎

事業区課	磯子区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	「区民のちから」発揮・活用事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,307	0	0	0		1,307
令和3年度	1,307	0	0	0		1,307
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算			
事業費	1,214	1,214	1,307
市債+一般財源	1,080	1,080	1,307
決算			
事業費	1,161	1,161	1,161
市債+一般財源	1,161	1,161	1,161

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,307	1,307	1,307
1,307	1,307	1,307

事業概要	区民が新たに地域活動に参加する機会を設けるとともに、活動中の団体への支援や、団体・区民・施設間の交流を深め、「区民のちから」が存分に発揮される地域社会を形成します。							
事業開始年度	平成19年度							
根拠法令・方針決裁等	磯子区市民活動・生涯学習支援センター事業実施要綱、磯子区市民活動・生涯学習支援センター事業事務取扱要領							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>少子高齢化や人口減少等により複雑多様化する地域課題に、行政だけでなく地域住民自らが自主的に取り組むことができるよう、地域活動の担い手を発掘・育成する必要があります。</p> <p>そのため、自主活動グループの育成を目的とした講座や、既に活動している団体を対象に、広報・人材育成・会計など団体運営に役立つテーマの講座、活動団体間の交流・連携を促進する事業を実施します。</p> <p>また、相談事業やスペース・機材の貸出、様々な情報提供などにより区民の活動を支援します。</p> <p>本事業を通して、より多くの区民が能力・経験等を生かして地域活動に取り組めるようになります。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区のコスモスミーティングや区民活動支援センターの利用者から、団体活動の担い手や、リーダーの後継者が不足しているといった声が寄せられています。</li> <li>・支援センターに寄せられる相談の中で、「人材・団体等の情報」、「事業の企画・広報」といった項目が例年上位を占め、区民の地域活動に対する関心の高さが窺われます。(市民活動・生涯学習支援センター利用統計)</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
相談件数	単位	目標	2,000	2,000	2,200	2,200	2,200	2,200
	件	実績	1,701	2,100				
登録「団体・地域ボランティア講師」	単位	目標	400	420	400	400	430	430
	組・人	実績	404	400				
講座参加者	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	人	実績	99	75				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度：「区民のちから」発揮・活用事業（活動参加促進事業・運営支援事業）開始</li> <li>・平成20年度：区民活動支援センターが社会教育コーナーから磯子区役所7階に移転</li> <li>・令和4年度：事業内容について従来どおり継続して実施</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	活動参加促進事業	371	371	0	—
	②	運営支援事業	936	936	0	—
細事業合計			1,307	1,307	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	石橋 雅昭	小野 信一郎

事業区課	磯子区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	国際交流推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,419	0	0	0		1,419
令和3年度	1,375	0	0	0		1,375
増△減	44	0	0	0	0	44

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	-	-	2,118	1,419	1,419	1,419
市債+一般財源	-	-	2,118	1,419	1,419	1,419
決 算 事業費	-	-	654			
市債+一般財源	-	-	654			

事業概要	磯子区で暮らす外国人区民にとって住みやすい環境づくりを目指し、多言語による生活相談や通訳・翻訳業務をとおしてサポートするとともに、地域で活躍する日本語教室の支援を行います。							
事業開始年度	令和2年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市国際交流ラウンジの設置及び運営に関する指針							
運営方針等との関連	令和3年度運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果(必要性)	区内には、約5,000人の外国人区民がいます。中には、言語が壁となり、生活の基本的な情報が欠如して生活に困難をきたしている例や、地域とトラブルが発生している例もあります。言語支援を必要とする外国人に対し、多言語での基本的な生活情報提供や個別相談などでの対応をはかり、磯子区に住む外国人区民が安心して暮らせる環境を目指します。 なお令和4年度においては当該事業の一層の推進を図るため、国際交流ラウンジの整備を目指します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市区別外国人人口【住民基本台帳】 令和元年度末4,800人、令和2年度末5,172人、令和3年度末4,957人、令和4年度末5,250人(見込)、令和5年度末5,550人(見込)</li> <li>【令和元年度外国人意識調査】</li> <li>現在の生活の満足度 現在の生活に満足(満足している+やや満足している)している人は64.1%</li> <li>横浜での生活で、困っていることや心配なこと 1位：日本語の不自由さ(29.8%)、2位：病気になった時の対応・病院で外国語が通じない(19.3%)、3位：自分または家族の健康(14.7%)</li> <li>日本語の不自由さと回答した人のうち、日本語の学習意欲を有する人(積極的に学びたい+機会があれば学びたい+無料なら学びたい)は91.1%</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
テレビ電話通訳タブレット使用回数	単位	目標	-	-	60	60	60	60
	回	実績	-	-				
日本語教室支援に係る講座実施回数	単位	目標	1	1	1	1	1	1
	回	実績	1	1				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度：国際交流推進事業開始</li> <li>平成22年度：日本語教室支援事業開始</li> <li>令和2年度：上記2事業に、外国人区民に対する窓口サービス向上事業・外国人区民に対する子育て支援事業を加え、多文化共生推進事業へ事業名称変更</li> <li>令和3年度：外国人区民に対する窓口サービス向上事業・外国人区民に対する子育て支援事業を廃止し、国際交流推進事業へ事業名称変更</li> </ul> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度：磯子区国際交流コーナー開設(8月)</li> <li>令和2年度：磯子区国際交流コーナー閉鎖(3月)</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	国際交流事業	1,296	1,228	68	広報印刷物作成による増
②	日本語教室支援事業	123	147	▲24	消耗品の在庫活用による減	
	細事業合計	1,419	1,375	44		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	大蔭 直子	中鉢 祐樹	小野 信一郎

事業区課	磯子区	地域振興課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	地域の居場所づくり支援事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,600	0	0	0		2,600
令和3年度	2,100	0	0	0		2,100
増△減	500	0	0	0	0	500

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		1,600	1,600	2,600	2,600	2,600
市債+一般財源		1,600	1,600	2,600	2,600	2,600
決算		0	1,500			
市債+一般財源		0	1,500			

事業概要	地域交流の場や地域の居場所づくりを進める事業に対して補助金を交付することで、地域の活性化に向けた取組を支援します。							
事業開始年度	令和元年度							
根拠法令・方針決裁等	磯子区地域の居場所づくり支援補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果 (必要性)	高齢化に伴う独り暮らし高齢者の増加や、様々な地域活動の担い手不足といった問題は磯子区においても顕在化しており、これらの改善のためにも地域活動への参加者数の底上げが必要となっています。このような状況下で、地域住民が気軽に集い交流ができるコミュニティサロンのような拠点（居場所）は、地域交流や見守りの場として有効であるとともに、そのような取組を自主的に進める地域団体等への支援が必要であると考えられます。							
根拠・データ等	磯子区地域の居場所づくり支援補助金交付要綱、地域要望、令和2年度横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書「新しく始める取組について、課題や支援が必要なこと」の項目に活動場所として使用できる会館がない20件。「自治会町内会の運営上の課題について」の項目に役員のなり手が少ない2,012件、自治会町内会館がない152件。							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
交付団体数	単位	目標	1	1	2	3	3	3
	団体	実績	0	1				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度 事業開始、補助期間3年、補助予算1箇所、補助実績なし。</li> <li>令和2年度 補助予算1箇所、補助実績1箇所</li> <li>令和3年度 補助予算2箇所、補助実績2箇所</li> <li>令和4年度以降 補助予算3箇所</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	磯子区地域の居場所づくり支援補助金	2,600	2,100	500	補助金交付団体の増
細事業合計		2,600	2,100	500		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	後藤 弘	井上 わかな



# 令和 4年度 事業計画書

事業区課	磯子区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	自治会町内会 ICT利活用支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,800	0	0	0		1,800
令和3年度	4,800	0	0	0		4,800
増△減	△ 3,000	0	0	0	0	△ 3,000

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費			
市債+一般財源			
決算			
事業費			
市債+一般財源			

令和5年度	令和6年度	令和7年度
0	0	0
0	0	0

事業概要	自治会町内会（地区連合町内会含む。以下、「自治会町内会等」という。）の、ICT利活用による事務の効率化や情報伝達の円滑化を目的とし、ICT利活用導入に係る費用の補助を実施します。							
事業開始年度	令和3年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例 磯子区自治会町内会 ICT利活用導入補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果 (必要性)	自治会町内会等に対し、ICT機器の購入等に係る費用に対する補助事業を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の影響で「新しい生活様式」への対応が必要となっている自治会町内会等への、オンラインでの会議や活動に係る支援を進めていきます。							
根拠・データ等	磯子区自治会町内会等の数（令和3年4月1日時点：単位自治会町内会167、地区連合町内会9） 令和2年度横浜市内自治会町内会・地区連合町内会アンケート（全市の団体数） ・「活動において新しく始めたこと」として「ICTの活用」をあげた団体：288団体 ・「活動において新しく始めたいこと」として「ICTの活用」をあげた団体：383団体							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ICT利活用 導入補助事業 交付団体数	単位	目標	(9)	10	10			
	団体	実績	(8)					
事業スケジュール	令和2年度：ICT利活用導入補助事業開始（申請対象：地区連合ごとに1団体）※自治会町内会振興事業で実施 令和3年度：ICT利活用導入補助事業（申請対象：全自治会町内会等、地区連合ごとの上限なし） 令和4年度：ICT利活用導入補助事業の実施（令和4年度で終了予定）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ICT利活用導入補助事業	1,800	1,800	0	—
	②	ICTに関する出張講座等の実施	0	3,000	▲ 3,000	別事業にて予算計上するため減
細事業合計			1,800	4,800	▲ 3,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	金澤 敬	野口 遥

事業区課	磯子区	地域振興課	新規拡充	■ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	自治会町内会活動デジタル化支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,000	0	0	0		3,000
令和3年度	0	0	0	0		0
増△減	3,000	0	0	0	0	3,000

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	事業費			
	市債+一般財源			
決算	事業費			
	市債+一般財源			

令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,700	600	0
2,700	600	0

事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンラインによる地域活動を導入する自治会町内会を支援するため、出張講座及び相談会の実施、また、自治会町内会が必要な時に必要な支援を受けることができるよう、相談窓口等の開設やアドバイザーの派遣等を行います。							
事業開始年度	令和4年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果 (必要性)	自治会町内会を対象に、オンラインによる地域活動を始めるきっかけとして出張講座を実施し、また、自治会町内会の活動におけるデジタル機器の操作方法・活用方法や団体内におけるデータ共有の方法等について、相談会やアドバイザー等で身近に相談できる機会を設けることにより、オンライン会議や活動に係る必要な、個別具体的な支援を進めることができます。							
根拠・データ等	磯子区自治会町内会等の数(令和3年4月1日時点：単位自治会町内会167、地区連合町内会9) 令和2年度横浜市内自治会町内会・地区連合町内会アンケート(全市の団体数) ・「活動において新しく始めたこと」として「ICTの活用」をあげた団体：288団体 ・「活動において新しく始めたいこと」として「ICTの活用」をあげた団体：383団体 ・「新しく始める(始めたい)取組で課題や支援が必要なこと」としてソフト面の課題をあげた団体：241団体 磯子区自治会町内会ICT利活用導入補助事業実績(令和2年度)：8団体に補助を実施							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
出張講座 実施回数	単位	目標		(相談会と出張講座 の合計で 20回)	10	5	0	0
	回	実績						
相談会 実施回数	単位	目標		(相談会と出張講座 の合計で 20回)	10	15	0	0
	回	実績						
アドバイザー 派遣等 実施か所数	単位	目標			5	5	5	0
	か所	実績						
事業スケジュール	令和3年度 デジタル化に関する出張講座・相談会の実施(自治会町内会ICT利活用支援事業で実施) (対象：全自治会町内会等、地区連合ごとの上限なし) 令和4年度 デジタル化に関する出張講座、相談会及びアドバイザー派遣等の実施 令和5年度 デジタル化に関する出張講座、相談会及びアドバイザー派遣等の実施 (出張講座、相談会は令和5年度で終了予定) 令和6年度 アドバイザー派遣等の実施(令和6年度で終了予定)							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ICT出張講座事業	1,500	0	1,500	新規実施による増
②	ICT相談会事業	900	0	900	新規実施による増	
③	デジタル化アドバイザー派遣事業	600	0	600	新規実施による増	
細事業合計		3,000	0	3,000		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	金澤 敬	野口 遥

事業区課	磯子区	総務、福祉 保健、生活衛生	課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費					
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目			
事業名称	地域と一緒につくる防災・減災事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	8,288	0	0	0		8,288
令和3年度	7,987	0	0	0		7,987
増△減	301	0	0	0	0	301

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	10,271	6,166	5,867	8,288	8,288	8,288
	市債+一般財源	10,271	6,166	5,867	8,288	8,288	8,288
決算	事業費	12,647	11,669	8,243			
	市債+一般財源	12,647	11,669	8,243			

事業概要	市・区防災計画に基づき、大規模災害発生に向けた備えを推進します。								
事業開始年度	平成15年度								
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、土砂災害防止法、水防法、横浜市防災計画、磯子区防災計画								
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」								
事業目的・効果 (必要性)	<p>全国的な大地震の発生、大型台風や短時間強雨の増加等により、区の災害対策に対する区民の関心は非常に高いものとなっています。令和元年に実施した区民意識調査においても、「磯子区が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」の第1位に「災害対策」が選出されました。</p> <p>こうしたなかで、発災時の機動的・即応的な対応を可能にするためには、備蓄品等を整備すると同時に、訓練等を通じて区本部各班及び関係機関の連携を強固なものとしておく必要があります。</p> <p>また、災害時に地域防災拠点へは、高齢者、障害者、外国人の方など様々な避難者が避難してくることや、ペット同行避難が想定されます。こうした様々な避難者への対応や備えについて進める必要があります。</p> <p>一方で、発災時に公助においてカバーできる範囲には限界があることから、地域防災拠点運営委員会や町の防災組織、防災ボランティア団体等への支援や、区民への啓発等を通じて、自助・共助の取組による地域防災力の向上を促す必要があります。</p>								
根拠・データ等	<p>・磯子区で想定される被害【磯子区防災計画震災対策編（平成31年4月）】</p> <p>&lt;元禄型関東地震&gt;（平日18時地震発生を想定）</p> <p>揺れによる建物全半壊被害：8,175棟</p> <p>火災による焼失棟数：4,958棟</p> <p>避難者（発災1日後）：30,664人</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
地域・拠点訓練 参加人数	単位	目標	8,700	8,700	4,500	6,500	9,000	9,000	9,000
	人	実績	9,162	2,379					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	<p>平成15年度：事業開始</p> <p>平成19年度：災害時医療体制整備事業開始</p> <p>平成24年度：地域の自助・共助啓発事業開始</p> <p>平成29年度：災害時ペット対策啓発事業開始</p>								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域防災訓練等支援事業	4,545	3,969	576	地域防災拠点配備品拡充による増
	②	地域の自助・共助啓発事業	510	1,075	▲ 565	災害時安否確認バンダナ袋入替完了による減
	③	災害時ペット対策啓発事業	352	305	47	ペット手帳印刷に伴う増
	④	防災関連マップ配布事業	792	265	527	区民生活・震災時防災マップの隔年発行に伴う増
	⑤	防災ボランティア活動支援事業	201	195	6	応急手当普及員再講習受講予定者数の増
	⑥	区災害対策本部強化事業	1,122	1,348	▲ 226	前年実績に基づく減
	⑦	災害時医療体制整備事業	766	830	▲ 64	装備品更新の平準化に伴う減
	細事業合計		8,288	7,987	301	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	大野 豊	係長	塩入 雅之	庶務	石川 大成
	係					

事業区課	磯子区	地域振興 課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	地域・学校防犯力強化事業						

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,311	0	0	0		1,311
令和3年度	1,437	0	77	0		1,360
増△減	△ 126	0	△ 77	0	0	△ 49

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	951	1,318	1,358
市債+一般財源	951	1,318	1,358
決算 事業費	778	1,164	1,161
市債+一般財源	778	1,164	1,161

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,311	1,311	1,311
1,311	1,311	1,311

事業概要	犯罪のない安全で安心なまちを実現するため、地域・学校・警察等と協力し、防犯対策を進めます。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	神奈川県安全・安心まちづくり条例、よこはま安全・安心プラン							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」							
事業目的・効果 (必要性)	令和2年の区内の犯罪認知件数は市内で3番目に少ない数値ですが、特殊詐欺の被害件数は依然として高い数値となっています。また、令和元年度に実施した区民意識調査の結果では「住まいの周辺の生活環境の中で重要度が高いもの」、「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの」として上位に「防犯対策」があげられており、区民のニーズは依然として高いものとなっています。このため、引き続き、自治会町内会をはじめ区民の皆様による主体的な防犯活動や取組を支援し、地域の防犯力の強化を図る必要があります。							
根拠・データ等	○令和元年度磯子区民意識調査報告書 ・P78「住まいの周辺の生活環境の中で重要度が高いもの」：35.0% ・P82「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの」：35.4%							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
犯罪発生件数 (1月～12月※)	単位	目標	485	557	541	541	541	541
	件	実績		557	541			
※警察の統計が歴年のため	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度 特殊詐欺対策のため、特殊詐欺被害防止に係るのぼり旗を作成し、自治会町内会等へ貸与を開始</li> <li>令和2年度 特殊詐欺対策のため、磯子警察署と連携した迷惑電話防止機器の貸与を開始</li> <li>令和3年度 区民による主体的な防犯活動や取組に関する支援（防犯活動物品の貸与等）等を継続して実施</li> <li>令和4年度 区民による主体的な防犯活動や取組に関する支援（防犯活動物品の貸与等）等を継続して実施</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	防犯活動支援事業	1,057	1,201	▲ 144	在庫の活用による消耗品費の減
	②	安全・安心まちづくり推進協議会運営事業	53	53	0	—
	③	安全・安心まちづくりポスターコンクール運営事業	201	183	18	応募者数等の実績の増
細事業合計			1,311	1,437	▲ 126	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	大蔭 直子	高橋 美和	和田 太郎

事業区課	磯子区	地域振興課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	交通安全啓発事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,595	0	0	0		3,595
令和3年度	3,333	0	0	0		3,333
増△減	262	0	0	0	0	262

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	2,565	3,115	3,636	3,595	3,595	3,595
市債+一般財源	2,565	3,115	3,636	3,595	3,595	3,595
決算	2,527	2,662	3,382			
市債+一般財源	2,527	2,662	3,382			

事業概要	交通事故から区民を守るため、交通安全の啓発を関係機関、団体と連携して進めます。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	道路交通法、交通安全対策基本法、横浜市市民協働条例、横浜市交通安全計画、横浜市補助金等の交付に関する規則、磯子区スクールゾーン推進組織助成金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」							
事業目的・効果 (必要性)	磯子区は国道16号線や産業道路、環状2・3号線などの幹線道路がある一方、住宅地の中には幅員の狭い道路が混在していて、道路環境は良好とはいえません。そのため、交通安全の問題については、区民の関心が高くなっています。交通事故発生件数は年々減少傾向にあるものの、未だ危険箇所もあり、区民一人ひとり、とりわけ子どもや高齢者の生命を守るために、長期的な視点に立って啓発活動を推進する必要があります。自転車を利用する方も多く、自転車マナーやルールに対する意識啓発も図っていく必要があります。							
根拠・データ等	<p>横浜市内の交通事故統計（道路局交通安全・自転車政策課）</p> <p>令和2年 磯子区：発生件数342(前年比+8)、死者数3人(前年比-1)、負傷者数393人(前年比+10)</p> <p>令和2年 18区平均：発生件数411、死者数2.7人、負傷者数470.4人</p> <p>磯子警察署WEBサイト「交通のページ」、スクールゾーン対策協議会要望書（磯子区内にスクールゾーンのある小学校19校、学校別要望書）</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
幼児交通安全教室 実施回数	単位	目標	33	37	40	40	40	40
	園	実績	32	15				
スクールゾーン電 柱巻標識更新	単位	目標	73	62	84	110	45	71
	巻	実績	73	62				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	<p>平成6年度：事業開始</p> <p>平成18年度：磯子区スクールゾーン推進組織助成金交付要綱制定</p> <p>[標準的な年間スケジュール] ※年度ごとの違いが少ないため、年間スケジュールを記載</p> <p>幼児・児童交通安全教室（通年）、磯子警察署や磯子交通安全協会と共に交通安全キャンペーンに参加（通年）、スクールゾーン対策協議会（通年）、シルバーリーダー研修会（7月）、交通安全講習会（10月）</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 幼児・児童交通事故防止事業	622	622	0	—
	② 高齢者・一般交通事故防止事業	243	356	▲ 113	事業手法の見直しによる減
	③ スクールゾーン対策事業	2,730	2,355	375	電柱巻標識の箇所数等の増
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		3,595	3,333	262	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	大蔭 直子	高橋 美和	鈴木 真美

事業区課	磯子区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	災害時要援護者支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,395	0	0	0		1,395
令和3年度	1,950	0	0	0		1,950
増△減	△ 555	0	0	0	0	△ 555

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算			
事業費	400	5,000	905
市債+一般財源	400	5,000	905
決算			
事業費	124	3,899	1,818
市債+一般財源	124	3,899	1,818

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,950	1,950	1,950
1,950	1,950	1,950

事業概要	災害時に自力での避難等が困難な災害時要援護者の支援等に関する取組を推進します。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、横浜市防災計画、磯子区防災計画							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の大規模な災害では高齢者や障害者の死亡率がその他に比べて高く、災害時要援護者支援の取組強化は急務となっています。</li> <li>災害時要援護者がいざという時に自分の身を守り、必要に応じて適切な避難を行うためには、地域による共助の取組が不可欠です。各自治会町内会の実情に応じた取組の支援を充実させる必要があります。</li> <li>災害時に在宅や地域防災拠点での生活が難しい要援護者のための二次的避難場所である26か所の「福祉避難所」が、発災時に円滑に運営されるよう、日頃から備品配備や開設訓練等の支援をしていく必要があります。</li> </ul>							
根拠・データ等	平成27年度災害時要援護者支援に係る現状把握アンケート							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
要援護者支援 取組実施率	単位	目標	95	95	95	95	95	95
	%	実績	93	95				
福祉避難所 連絡会 実施回数	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	回	実績	2	2				
救急医療情報 キット配布	単位	目標	3,000	3,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	本	実績	2,713	1,764				
事業スケジュール	平成30年度 取組段階別の研修会の実施 令和元年度 災害時安否確認パンダナの作成 令和2年度 地区単位で配布依頼があった2地区へ実績数とは別に計9,000個の救急医療情報キットを配布 令和3年度 災害時要援護者向けリーフレットの作成 令和4年度 訪問用物品の配付							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	福祉避難所支援事業	1,040	1,040	0	—
	②	救急医療情報キット配布事業	205	410	▲ 205	在庫活用による減
	③	災害時要援護者支援事業	150	500	▲ 350	リーフレット作成終了による減
細事業合計			1,395	1,950	▲ 555	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	—
	橋本 哲	栗原 明日香	渡辺 竜也

事業区課	磯子区	地域振興 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	地域文化活性化事業							

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,128	0	0	0		2,128
令和3年度	1,844	0	0	0		1,844
増△減	284	0	0	0	0	284

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	2,238	2,638	1,059
市債+一般財源	2,238	2,638	1,059
決算 事業費	1,762	1,662	500
市債+一般財源	1,762	1,662	500

令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,128	2,128	2,128
2,128	2,128	2,128

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>磯子区内の文化振興の推進を図るために、地域で文化活動をしている団体への支援及び様々なグループの発表や芸術鑑賞の場をより多く提供することにより、魅力にあふれる環境づくりを推進します。</li> <li>読書活動の推進を図るため、講演会等を実施するほかまちじゅう図書館事業を実施します。</li> </ul>							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市区民文化センター条例、横浜市区民文化センター条例施行規則、磯子区地域文化振興事業補助金交付要綱、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、第二次磯子区読書活動推進目標							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民が気軽に文化に親しめるよう芸術鑑賞の場の提供や、文化活動をしている団体への支援を行うとともに、若い世代から高齢者までが気軽に文化に触れ交流できる場や、文化活動を行うきっかけづくりの場を提供します。</li> <li>子どもから大人まで、すべての世代が本に触れる機会を増やし、区民全体の読書活動を活発にします。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事や学業以外に活動してみたいこと【令和元年度磯子区民意調査】 1. スポーツや健康づくり (24.7%) 2. 文化・芸術 (16.8%) 3. 福祉活動 (16.7%)</li> <li>いそご芸術文化祭来場者数の推移【実績】 平成30年度：約4,400人 令和元年度：約3,600人 令和2年度：約300名</li> <li>ISOGOダンスまつり参加団体数の推移【実績】 平成30年度：60チーム 令和元年度：中止</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
いそご芸術文化祭来場者数	単位	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	人	実績	3,572	282				
ISOGOダンスまつり申込団体数	単位	目標	60	—	60	60	60	60
	団体	実績	74	—				
図書館の貸出冊数	単位	目標	450,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
	冊	実績	420,898	349,703				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成6年度：区民ホールギャラリー開始</li> <li>平成20年度：磯子区地域文化振興事業補助金交付要綱制定</li> <li>平成24年度：ISOGOダンスまつり事業開始</li> <li>平成25年度：磯子音楽祭（区共催）事業開始</li> <li>平成29年度：読書活動推進事業開始</li> <li>令和元年度：磯子音楽祭（区共催）事業終了</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域文化振興支援事業	523	523	0	—
②	ISOGOダンスまつり	1,300	1,016	284	通常開催に基づく予算計上	
③	読書活動推進事業	305	305	0	—	
細事業合計		2,128	1,844	284		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	大蔭 直子	中鉢 祐樹	大沢 友恵

事業区課	磯子区	地域振興課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	区民スポーツ振興事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,100	0	0	0		1,100
令和3年度	1,610	0	0	0		1,610
増△減	△ 510	0	0	0	0	△ 510

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,000	1,300	1,620	1,100	1,100	1,100
	市債+一般財源	1,000	1,300	1,620	1,100	1,100	1,100
決算	事業費	983	1,145	756			
	市債+一般財源	983	1,145	756			

事業概要	区民のスポーツを通じた健康づくりを促進し、地域スポーツの向上・発展を図るため、磯子区スポーツ協会加盟団体やスポーツ振興団体が開催する区民大会やスポーツ教室を支援します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	磯子区スポーツ振興活動補助金交付要綱、磯子区民駅伝大会事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「地域の力と魅力にあふれるまち」							
事業目的・効果 (必要性)	区民のスポーツへの関心や参加機会を高め、いつでも、どこでも、だれもが気軽に参加できるスポーツを普及させ、健康増進や住民同士の交流を一層図ることが求められています。 磯子区スポーツ協会加盟団体やスポーツ振興団体が開催する区民大会やスポーツ教室等を支援することで、区民がスポーツに参加しスポーツへの関心を高めることに寄与します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事や学業以外に活動してみたいこと【令和元年度磯子区民意調査】 1. スポーツや健康づくり (24.7%) 2. 文化・芸術 (16.8%) 3. 福祉活動 (16.7%)</li> <li>・仕事や学業以外に活動したこと (スポーツや健康づくり※)【磯子区民意調査/推移】 平成25年度：10.8% 平成27年度：10.3% 平成29年度：9.8% 令和元年度：9.2% ※平成25～29年度は「文化・芸術・スポーツの参加や振興」としてまとめて聴取</li> <li>・補助金交付団体が開催する事業の参加者総数【実績】 平成29年度：13,343人 平成30年度：14,607人 令和元年度：14,178人 令和2年度：2,987人</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
補助金 交付件数	単位	目標	22	22	22	22	22	22
	件	実績	19	15				
補助金交付 事業に係る 参加者総数	単位	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
	人	実績	14,178	2,987				
事業スケジュール	平成6年度：事業開始 令和元年度：オリンピック・パラリンピック機運醸成事業開始 令和3年度：オリンピック・パラリンピック機運醸成事業終了							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	スポーツ振興活動補助金交付事業	1,100	1,100	0	—
	②	オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	0	510	▲ 510	事業終了による減
細事業合計			1,100	1,610	▲ 510	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	大蔭 直子	中鉢 祐樹	係 遠藤 貴史



事業区課	磯子区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	青少年育成活動助成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	962	0	0	0		962
令和3年度	962	0	0	0		962
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	920	920	920	962	962	962
	市債+一般財源	920	920	920	962	962	962
決算	事業費	680	646	0			
	市債+一般財源	680	646	0			

事業概要	青少年育成を目的とした団体が行う事業に対して補助を行い、青少年育成活動を推進します。							
事業開始年度	平成19年度							
根拠法令・方針決裁等	磯子区青少年育成活動補助金交付要綱、磯子区子ども会連絡協議会事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果 (必要性)	少子高齢化が深刻な課題となっている現在、地域における青少年育成活動をさらに活性化していくことは、必要不可欠です。子ども達が地域で安心して過ごし健やかに成長するため、青少年の健全育成を目的とした事業を行っている団体の活動を支援します。							
根拠・データ等	【令和元年度磯子区民意調査】 ・磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いもの 1. 災害対策 (38.6%) 2. 防犯対策 (35.4%) 3. 高齢者福祉 (32.1%) 4. 子育て支援や青少年の健全育成 (22.4%) ・住まい周辺の生活環境の中で、満足しているもの 1. バスの便などの地域交通 (56.2%) 2. ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化 (32.2%) 3. 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 (28%) …… 12. 子育て支援や青少年の健全育成 (4.6%)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
青少年育成活動補助金交付件数	単位	目標	8	8	8	8	8	8
	件	実績	7	0				
子ども会連絡協議会主催事業数	単位	目標	6	6	6	6	6	6
	回	実績	4	0				
事業スケジュール	事業開始から令和4年度まで事業内容に変更なし							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	青少年育成活動支援事業	599	599	0	—
	②	子ども会連絡協議会支援事業	363	363	0	—
細事業合計			962	962	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	中鉢 祐樹	大沢 友恵

事業区課	磯子区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	—
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	子育て応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,886	0	0	0		6,886
令和3年度	4,486	0	0	0		4,486
増△減	2,400	0	0	0	0	2,400

歳出				令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	5,900	5,900	5,900
市債+一般財源	3,599	4,702	4,368	5,900	5,900	5,900
事業費	4,049	4,631	4,368			
市債+一般財源	4,049	4,631	3,803			

事業概要	子どもが健やかに育ち、子育てが楽しめる家庭が増えることを目指して、出産前から子育て期にわたり支援を行います。また、地域子育て支援拠点や地域の子育て支援団体・機関との連携をすすめ、地域で子育て支援を進めていきます。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法、横浜市子ども・子育て支援事業計画							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果(必要性)	現在の子育て家庭は、核家族化の増加や地縁の繋がりの希薄化した社会で育っており、親になるまでに子育てを身近に体験したことがない家庭が増えています。また、核家族化などに伴う家族力の低下も目立ち、祖父母世代も就労や介護を抱えており、日常的に育児の相談・支援を頼める人を持つ家庭が減少しています。そんな中、育児不安や孤独感を感じる人は増加しており、これを軽減できるような子育て支援事業の実施が求められています。そこで、子どもが健やかに育つための知識の普及や育児不安、悩みを感じている養育者が気軽に相談しやすいように、プレパパ出産・育児教室、授乳相談、赤ちゃん教室などを開催します。また、地域全体で子育てをするネットワークの推進(子育て支援連絡会)に取り組み、家庭と地域の育児力を高めていきます。							
根拠・データ等	母子保健統計 <実績推移> 母子健康手帳交付数 令和元年度1,207件 令和2年度1,205件 令和3年度1,200件(見込) 両親教室 令和元年度570人 令和2年度426人 令和3年度400人(見込) 母子訪問 令和元年度1,206件 令和2年度1,076件 令和3年度1,100件(見込) こんには赤ちゃん訪問 令和元年度1,006件 令和2年度996件(内255件は郵送) 令和3年1,00件(見込) 乳幼児健診対象児 令和2年度 4か月：1,061人 1歳6か月児：1,164人 3歳児：1,409人 赤ちゃん教室 令和元年度2,184人 令和2年度1,056人 令和3年1,000人(見込) 統計ポータルサイト 令和元年度 出生数1,105人 外国人登録者数5,172人 1位中国 2位韓国・朝鮮 3位フィリピン 4位ベトナム 5位ネパール							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
プレパパ・出産育児教室、プレパパプレママの会参加者数	単位	目標	130	130	130	130	130	120
	人	実績	129	106				
アルバム配布数	単位	目標	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
	人	実績	1,006	996				
子育て支援マップ配布数	単位	目標	3,500	3,500	3,500	3,500	1,500	1,500
	枚	実績	3,500	3,500				
事業スケジュール	平成17年度 はっちネット(磯子区発達障害児・者地域支援ネットワーク連絡会)立ち上げ 平成22年度 子育て支援連絡会(区連絡会・地区別連絡会)事業開始 平成30年度 出生を祝う事業開始 磯子区オリジナルアルバム作成 令和2年度 「新米パパの育児教室」から「プレパパ出産・育児教室」へ名称変更。「プレパパ・プレママの会」 令和4年度 出生を祝う事業「磯子区オリジナルアルバム」デザイン修正 【新規事業】「磯子区子育て支援マップ」に代わる小冊子を作成							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	プレパパ出産・育児教室	442	451	▲ 9	事業内容の見直しによる減
	②	授乳相談	242	292	▲ 50	必要量の精査による消耗品費の減
	③	赤ちゃん教室	1,395	1,665	▲ 270	必要量の精査による消耗品費の減
	④	保育ボランティア研修・配置事業	138	138	0	—
	⑤	子育て支援連絡会	100	200	▲ 100	必要量の精査による消耗品費の減
	⑥	出生を祝う事業	1,369	910	459	アルバムデザイン見直しによる増
	⑦	子育て支援マップ	2,900	580	2,320	小冊子作成による増
	⑧	子ども家庭支援相談リーフレット制作事業	0	150	▲ 150	局予算活用による減
	⑨	発達障害児支援ネットワーク事業	300	100	200	情報誌隔年印刷による増
	細事業合計		6,886	4,486	2,400	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭支援係
	島田 恵	佐藤 朱美	佐藤 朱美

事業区課	磯子区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	保育園地域子育て事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	827	0	0	13		814
令和3年度	795	0	0	21		774
増△減	32	0	0	△ 8	0	40

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,187	1,204	997	850	850	850
	市債+一般財源	1,187	1,204	997	850	850	850
決算	事業費	807	1,139	763			
	市債+一般財源	807	1,139	763			

事業概要	市立保育園（東滝頭、洋光台第二）の保育施設を活用した子育て支援事業を実施することで、自宅で養育している親と子のふれあいや地域とのつながりを醸成し、子育て中の家庭やその家族等を支援します。また、園児が保育園で花・野菜を栽培・展示するなど、地域の“緑花”をきっかけに支援の輪を広げます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	児童福祉法、食育基本法、横浜市子ども・子育て支援事業計画、横浜みどりアップ計画							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果（必要性）	子育てに不安や悩みを抱える保護者が多くなっている現状をふまえ、保育所という既存の施設を活用し、保育の専門家としての職員のマンパワーを生かした育児支援を行います。特に孤立しやすい保護者に、保育園で行っている支援を知ってもらおう事業を展開し、その後の子育て支援につなげ、育児の孤立化を防ぎます。							
根拠・データ等	【市立保育園における育児相談実施状況（令和2年度）】 相談件数997件（内訳）生活習慣66件、発達・発育195件、医学的問題6件、育児・環境164件、情報提供561件、その他5件 ※参考：令和元年度2,266件、平成30年度1,874件							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
出前保育事業	単位	目標	1,000	1,100	800	800	800	800
	人	実績	1,073	150				
ベビーアルバム（手形・足形）	単位	目標	200	200	140	140	140	140
	人	実績	181	34				
給食体験	単位	目標	30	30	20	20	20	20
	人	実績	27	0				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児支援事業 出前保育（月に1～2回程度・年合計22回予定）、地域での育児イベント（年3回）、読みきかせ（園庭開放日のうち月3～4回）、地域親子の居場所・仲間づくりの場の提供（東滝頭 年7回）</li> <li>・My保育園事業 5月以降の園庭開放日に実施</li> <li>・すくすくもぐもぐ相談事業 各園月1回</li> <li>・花いっぱい 野菜いっぱい あったか保育園事業 4～3月に随時</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	育児支援事業	319	319	0	—
	②	My保育園事業	50	40	10	実施方法の見直しによる増
	③	すくすくもぐもぐ相談事業	98	56	42	事業見直しによる増
	④	花いっぱい 野菜いっぱい あったか保育園事業	360	380	▲ 20	備品費の減
細事業合計		827	795	32		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭支援 係
	綿貫 麻美 廣澤 宣幸	木村 貴紀	木村 貴紀

事業区課	磯子区		こども家庭支援課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費		子育て・子ども・青少年育成費					
歳出予算科目	一般会計		3	款	2	項	1	目
事業名称	親子の笑顔サポート事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,298	0	0	0		2,298
令和3年度	3,669	0	0	0		3,669
増△減	△ 1,371	0	0	0	0	△ 1,371

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算			
事業費	1,745	2,905	3,669
市債+一般財源	1,745	2,905	3,669
決算			
事業費	1,632	2,651	1,860
市債+一般財源	1,632	2,651	1,860

令和5年度	令和6年度	令和7年度
3,000	3,000	3,000
3,000	3,000	3,000

事業概要	子どもへの関わり方に悩む保護者を支えることで虐待防止につなげ、日常のなかに潜む不適切な関わりを『怒らない子育て方法』で親子の笑顔に変える支援を実施します。また、養育支援世帯を地域で支え見守る虐待防止の地域づくりへ向けたネットワーク構築を継続します。
------	--

事業開始年度	平成30年度
--------	--------

根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、DV防止法、横浜市子どもを虐待から守る条例、横浜市子ども・子育て支援事業計画
------------	---

運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」
-----------	-------------------------------

事業目的・効果(必要性)	<p>日常の窓口応対や母子保健活動等で、子どもへのしつけやかかわり方についての相談が多くあります。なかには行き過ぎたしつけにより、身体的、心理的な虐待に発展してしまう例もあります。また、子どもや女性で複雑な事情を抱える相談者や精神的支援を必要とする相談者が増加傾向にあり、相談時に法的な相談や精神面での支援を求められています。</p> <p>「STOP!子ども虐待」事業においては、有識者を招き、要保護児童地域対策協議会として地域支援者等に虐待通告時の対応、地域内で虐待対応時の情報交換を行うことで児童虐待防止における地域の対応向上に寄与します。</p>
--------------	---

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦及び女性の健康相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;実績推移&gt;令和元年度 電話相談延べ495件 来所相談延べ626件</li> <li>令和2年度 電話相談延べ285件 来所相談延べ809件</li> <li>令和3年度 電話相談延べ(300件) 来所相談延べ(700件) (見込み)</li> </ul> </li> <li>・区への児童虐待に係る通告・相談に対する調査等の対応件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;実績推移&gt;令和元年度 225件/全区3,947件、令和2年度 228件/全区3,701件</li> </ul> </li> </ul>
---------	---

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
怒らない子育て方法紹介・サポーター養成・実践講座	単位	目標	30	60	100	100	100	100	100
	人	実績	28	25					
リーフレット作成、配布数	単位	目標	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	枚	実績	5,600	5,650					
エリア別虐待防止連絡会	単位	目標	10	10	12	10	10	10	10
	回	実績	10	8					

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度事業開始(親子の笑顔サポート事業)</li> <li>・令和元年度エリア別虐待防止連絡会(2年目) 3か年;7中学校、6エリア地区</li> <li>・令和2年度怒らない子育てサポーター養成講座(2年目) コロナ感染症 非常事態宣言を受け中止</li> <li>・令和2年度エリア別虐待防止連絡会(3年目) コロナ感染症 非常事態宣言を受け2エリア中止</li> <li>・令和3年度エリア別虐待防止連絡会(4年目) 前年度中止になった2エリアを含め全エリア2回ずつ開催予定</li> <li>・令和4年度エリア別虐待防止連絡会(5年目) 7中学校、6地区エリア 内容を変更し開催予定</li> </ul>
----------	---

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ひろがれ!怒らない子育て	985	2,240	▲ 1,255	事業手法の見直しによる減
	②	「STOP!子ども虐待」事業	1,043	1,043	0	—
	③	親子のための法律相談	270	386	▲ 116	事業見直しによる減
細事業合計		2,298	3,669	▲ 1,371		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	島田 恵	吉田 真樹	吉田 真樹

事業区課	磯子区	福祉保健課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	磯子区地域福祉保健計画推進事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,749	0	0	0		6,749
令和3年度	6,899	0	0	0		6,899
増△減	△150	0	0	0	0	△150

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
予算	6,718	6,718	13,436	8,158	8,158	16,316	10,302	10,302	20,604
決算	6,190	6,190	12,380	7,047	7,047	14,094	6,930	6,930	13,964

事業概要	「誰もが幸せに暮らせるまち」を目指して、地域の福祉保健活動の支援や計画の普及啓発を行い、第4期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の推進を図ります。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	社会福祉法、横浜市地域福祉保健計画、磯子区地域福祉保健計画、磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」事業補助金交付要綱、磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」事業補助金交付事務取扱要領、磯子区地域支えあい事業実施要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果(必要性)	少子高齢社会が進行する中で、「身近な地域で支えあえるまちづくり」が求められています。地域が主体的に課題解決に取り組めるよう支援を行いながら、地域と共に計画を推進していく必要があります。庁内連携及び区役所・区社協・地域ケアプラザの連携による地域支援が求められています。第4期計画を広く区民に周知し、地域の福祉保健活動に関心を持ってもらうことで、地域活動の活性化及び担い手の拡大につなげていく取組が必要です。							
根拠・データ等	・「スイッチON磯子」補助金の申請件数実績推移 平成28年度78事業、29年度82事業、30年度88事業、令和元年度89事業、2年度93事業							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地区別計画支援(スイッチON磯子補助金)	単位	目標	5,176	5,172	5,176	5,176	5,176	5,176
	千円	実績	4,920	4,518				
地域支えあい事業訪問員研修会	単位	目標	400	400	400	400	400	400
	人	実績	中止	中止				
策定推進検討会	単位	目標	2	2	3	3	3	3
	回	実績	2	2				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度：事業開始（第1期地域福祉保健計画開始）</li> <li>平成23年度：第2期地域福祉保健計画開始、「スイッチON磯子」事業補助金開始</li> <li>平成28年度：第3期地域福祉保健計画開始</li> <li>令和元年度：第3期地域福祉保健計画振り返り、策定推進検討</li> <li>令和3年度：第4期地域福祉保健計画開始</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	支援事業	6,021	5,907	114	会議参加者の増
②	普及啓発事業	728	992	▲264	事業手法の見直しによる減	
③		0	0	0		
④		0	0	0		
⑤		0	0	0		
⑥		0	0	0		
⑦		0	0	0		
⑧		0	0	0		
⑨		0	0	0		
⑩		0	0	0		
細事業合計			6,749	6,899	▲150	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	橋本 哲	栗原 明日香	小島 菜生

事業区課	磯子区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	区民の健康づくり応援事業					

(単位: 千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,892	0	0	0		1,892
令和3年度	2,100	0	0	0		2,100
増△減	△ 208	0	0	0	0	△ 208

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,054	2,858	2,689	1,800	1,800	1,800
	市債+一般財源	2,054	2,858	2,689	1,800	1,800	1,800
決算	事業費	2,048	2,568	1,416			
	市債+一般財源	2,048	2,568	1,416			

事業概要	区民が健康づくりに関心を持つ機会を提供するとともに、保健活動推進員や食生活等改善推進員の人材育成を行い、区民の健康づくりを応援します。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	健康増進法 横浜市がん撲滅対策推進条例 横浜市保健活動推進員規則 第2期健康横浜21 食育基本法 横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果(必要性)	健康寿命を延ばすには、生涯にわたりライフステージに応じた健康づくりを継続していくことが大切です。区民の死因のうち、がん・心疾患・脳血管疾患等の生活習慣病の割合は5割を超え、生活習慣病予防は重要です。また横浜市は、全国平均と比較して、がん検診の受診率が低いことが、健康問題としてあげられます。これらの問題を軽減し健康寿命を延ばすため、コロナ禍においても受診控えがないよう各検診の啓発を行います。また、感染予防対策をするとともにコロナに負けない体づくりをすすめるため、健康に関する知識の普及・啓発、健康づくりを行うための「きっかけづくり」の場を提供します。また、乳幼児のむし歯予防も課題として挙げられます。1歳6か月児歯科健診のう蝕罹患率は横浜市が0.97%であるのに対して磯子区は1.82%(市内最下位)、3歳児歯科健診のう蝕罹患率は横浜市が9.02%であるのに対して磯子区は10.57%と市内でも高い状況です。令和2年度乳幼児歯科相談では、歯みがきに関する相談が参加者の84%と最多を占めています。食育事業と共催して歯と口の健康を啓発していく必要があります。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市国保加入者の特定健診受診率及び横浜市がん検診受診率(磯子区) <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;平成29年度&gt; 特定健診22.1%、胃がん5.5%、肺がん9.2%、乳がん19.3%、子宮がん25.1%、大腸がん13.6%</li> <li>&lt;平成30年度&gt; 特定健診24.6%、胃がん5.3%、肺がん10.6%、乳がん16.8%、子宮がん23.9%、大腸がん13.2%</li> <li>&lt;令和元年度&gt; 特定健診25.5%、胃がん4.0%、肺がん12.2%、乳がん16.2%、子宮がん22.7%、大腸がん15.1%</li> <li>&lt;令和2年度&gt; 特定健診25.5%、胃がん2.9%、肺がん12.0%、乳がん13.8%、子宮がん22.0%、大腸がん13.2%</li> </ul> </li> <li>乳幼児の健康づくり講座参加者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;出張栄養相談&gt; 30年度 99人、元年度 100人、2年度 49人</li> <li>&lt;はじめての離乳食教室&gt; 30年度 117人、元年度 120人、2年度 30人</li> <li>&lt;おいしいお話よみかせ&gt; 30年度 91人、元年度 100人、2年度 未実施</li> </ul> </li> </ul> <p>※2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未実施及び開催回数削減あり</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
働き世代の健康づくり啓発数	単位	目標	300	300	300	100	100	100
	人	実績	493	0				
がん検診・特定健診啓発数	単位	目標	2,000	2,500	270	500	1,000	1,000
	人	実績	2,506	190				
乳幼児の健康づくり事業参加家庭数	単位	目標	280	280	208	208	208	208
	組	実績	247	85				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度 事業実施</li> <li>平成26年度 健康づくりリーダー応援事業(保健活動推進員関連事業)と統合</li> <li>平成28年度 地域食育推進事業(乳幼児の健康づくり事業)と統合</li> <li>令和3年度 食生活等改善推進員活動支援実施(単年度事業)</li> <li>令和4年度 乳幼児の健康づくり事業に、歯科講座を併設</li> </ul>							

(単位: 千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	出張!健康づくり応援隊	258	203	55	実施方法見直しによる増
	②	がん検診・特定健診啓発事業	724	721	3	実施方法見直しによる増
	③	保健活動推進員関連事業	364	464	▲ 100	実施方法見直しによる減
	④	出張栄養相談	126	126	0	—
	⑤	はじめての離乳食教室	244	126	118	歯科講座開催による増
	⑥	おいしいお話よみかせ	176	100	76	歯科講座開催による増
	⑦	食生活等改善推進員活動支援事業(3年度のみ)	0	360	▲ 360	事業終了による減
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
	細事業合計		1,892	2,100	▲ 208	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	橋本 哲	羽布津 昌子	浜田 由美子

事業区課	磯子区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	高齢者みんなで支えるまちづくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,396	0	0	0		1,396
令和3年度	1,496	0	0	0		1,496
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算	1,711	1,901	1,582
市債+一般財源	1,711	1,901	1,582
決算	1,783	1,743	1,358
市債+一般財源	1,783	1,743	1,358

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,396	1,396	1,396
1,396	1,396	1,396

事業概要	高齢者人口の増加にともない、高齢者の健康づくり、認知症の増加、高齢者虐待の深刻化に対応するため、介護予防の普及、認知症支援、権利擁護の取組を進め、磯子区全体の地域包括ケアを推進します。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	介護保険法、横浜市認知症高齢者等地域支援実施要綱、厚生労働省認知症サポーター等養成事業実施要綱、横浜市地域ケア会議実施要綱							
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯子区の65歳以上人口は令和3年3月末現在46,266人（高齢化率27.6%）で、区民の4人に1人以上が65歳以上です。また、厚生労働省の研究では65歳以上の高齢者のうち18%が認知症と言われており、認知症への対応が重要です。</li> <li>・高齢者自身が今後をどのように生きるかについては区民の関心が高く、生きがいをもち生活できるような仕組み作りが必要です。</li> <li>・高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築が求められています。その一環として、磯子区の高齢者の課題を関係者が話し合う地域ケア会議を実施し、地域包括ケアを推進していく必要があります。</li> <li>・区民の健康寿命を延ばすために健康づくり・介護予防の取組と健康に関する意識を高める啓発が必要です。</li> </ul>							
根拠・データ等	横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた磯子区行動指針（平成30年3月） 第8期横浜市 高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画 認知症施策推進計画							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
あんしんネットワーク登録者	単位	目標	124	121	130	140	140	140
	人	実績	124	121				
通いの場の参加人数	単位	目標	925	941	950	1,000	1,050	1,100
	人	実績	925	941				
事業スケジュール	平成17年度：事業開始 認知症普及啓発講演会実施、認知症普及啓発物品作成 平成27年度：地域ケア会議啓発（パンフレット作成）、区レベル地域ケア会議の開催 平成29年度：ロコモティブシンドローム予防事業開始（DVD、チラシ等作成） 令和2年度：エンディングノート推進事業 区配予算へ移行 令和4年度：「ロコモティブシンドローム予防事業」から「フレイル予防事業」へ名称変更							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	認知症の理解に向けた普及啓発	1,149	1,147	2	啓発物品作成による増
	②	地域ケア会議	55	55	0	—
	③	フレイル予防事業	192	294	▲ 102	在庫活用による減
細事業合計		1,396	1,496	▲ 100		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	見村 めぐみ	小島 朝子	小島 朝子

事業区課	磯子区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	障害者地域生活サポート事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	934	0	0	0		934
令和3年度	1,152	0	0	0		1,152
増△減	△ 218	0	0	0	0	△ 218

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	605	1,055	799	851	851	851
市債+一般財源	605	1,055	799	851	851	851
決 算	717	781	862			
市債+一般財源	717	781	862			

事業概要	①障害者の地域生活課題を抽出し、課題解決に向けて支援者のスキルアップを図る。 ②支援関係機関のネットワークを充実させる。 ③障害者の理解を広げるため、区民向けに啓発を行う。								
事業開始年度	平成18年度								
根拠法令・方針決裁等	障害者基本法、障害者総合支援法、発達障害者支援法、横浜市障害者プラン（第4期）、横浜市相談支援事業実施要綱								
運営方針等との関連	令和3年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」								
事業目的・効果 (必要性)	障害者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、横浜市では「横浜市障害者プラン」を策定しています。令和3年度からは第4期がスタートし、障害状況に合わせた支援やライフステージを通じた一貫した支援、障害者の高齢化・重度化への対応が求められています。障害者基本法・総合支援法など様々な法律・制度が整備されてきていますが、障害者の抱える課題は多様であり、地域生活課題の解決を図るため、関係機関とのネットワークを構築し課題解決にあたっていく必要があります。また、区民の障害者に対する理解を深めるため、理解促進のための普及啓発事業を実施する必要があります。								
根拠・データ等	第4期横浜市障害者プラン（令和3年4月）								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
自立支援協議会 登録事業者数	単位	目標	95	103	109	112	115	118	121
	数	実績	95	103					
普及啓発 実施回数	単位	目標	38	38	39	40	41	40	41
	回	実績	38	40					
事業スケジュール	平成18年度 事業開始 平成30年度 障害者施設の自主製品紹介がけ「いそごでさがそ」作成 令和2年度 精神科病院退院用リーフレット「いそごでくらす」作成								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 障害者相談支援ネットワーク事業	88	88	0	—
	② 障害者週間等普及啓発事業	846	1,064	▲ 218	改訂終了による減
細事業合計		934	1,152	▲ 218	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	見村 めぐみ	芦澤 美穂	芦澤 美穂



事業区課	磯子区	生活衛生課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	—
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	食と暮らしの安全確保・啓発事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	995	0	0	0		995
令和3年度	641	0	0	0		641
増△減	354	0	0	0	0	354

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	527	663	813	600	600	600
	市債+一般財源	527	663	813	600	600	600
決算	事業費	442	593	591			
	市債+一般財源	442	593	591			

事業概要	区民の安全で安心な生活を実現するため、健康危機管理の強化に関する支援や食品衛生、生活衛生及び動物の愛護に関する正しい情報を発信します。							
事業開始年度	平成14年度							
根拠法令・方針決裁等	食品衛生法、食品安全基本法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市スズメバチ等対策実施要領、横浜市居住衛生対策事業実施要領							
運営方針等との関連	磯子区政運営方針「安全・安心なまち」							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、カンピロバクターやノロウイルス、アニサキスによる食中毒が全国各地で発生しています。また、テイクアウトやデリバリーに関する業者からの問い合わせも寄せられていて、食中毒の発生を防止するために事業者への効果的な監視指導・啓発や区民への適切な情報提供を行っていく必要があります。また、高齢者に対する配食サービス、こども食堂など地域活動として食品提供を行うことも増えており、お祭り等地域活動での食事提供などとともに食中毒予防等のための支援が必要です。</li> <li>飼育動物に関する苦情（特に猫）やハチ等の衛生害虫相談が多く寄せられており、問題解決のための支援や啓発を継続する必要があります。</li> <li>情報提供や支援の方法について、新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえて実施していく必要があります。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>食中毒発生状況（全国）【厚生労働省食中毒統計】（発生件数）令和元年 1,061件、令和2年 887件</li> <li>食中毒発生状況（横浜市）【厚生労働省食中毒統計】（発生件数）令和元年 37件、令和2年 50件</li> <li>行事開催（イベント等での食事提供）届出件数【磯子区】（届出件数）令和元年度 146件、令和2年度 2件、令和3年度 20件（見込）、令和4年度 150件（見込）</li> <li>動物関係苦情相談対応件数【磯子区】（件数）令和元年度 489件、令和2年度 416件、令和3年度 450件（見込）、令和4年度450件（見込）</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
食品取扱施設の拭き取り検査	単位	目標	100	100	60	60	60	60
	施設	実績	63	31				
衛生講習会実施回数	単位	目標	65	65	65	60	60	60
	回数	実績	39	33				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年度事業開始</li> <li>食品衛生、生活衛生及び動物の愛護に関する正しい情報発信等を継続実施していきます。</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 生活衛生関係施設衛生確保事業	226	91	135	検査機器更新による増
	② 食中毒、感染症予防対策事業	57	31	26	通信運搬費の増
	③ 食と暮らしの衛生に関する情報発信事業	251	359	▲ 108	購入量の精査による消耗品費の減
	④ 衛生害虫等対策事業	11	22	▲ 11	在庫活用による減
	⑤ 動物適正飼育啓発・推進事業	239	107	132	啓発物品購入による増
	⑥ 猫の飼育問題解決支援事業	211	31	180	貸出機材購入による増
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	995	641	354	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	松木 諭和	齋藤 耕治	加藤 元規